

## 『大学評価ハンドブック』の改訂について（平成30年4月）

- 適合若しくは不適合の判定又は判定保留の判断について、内容をより明確化した。
  - ・ 表Ⅰ－1「判定及び判定保留の基準」に対する説明を充実（p. 8）。
  - ・ 「判定基準及び判定基準の運用指針」を資料編に掲載（資料3）。
  
- 「点検・評価報告書」の作成方法について、留意点等をより明確化した。
  - ・ 学部・研究科の例の取り上げ方の説明を充実（p. 22）。
  - ・ 前回の機関別認証評価等で改善すべき事項が指摘された場合について、「点検・評価報告書」内で報告すべき具体的な範囲及び内容を明確化（pp. 22、23）。
  - ・ 図Ⅱ－5「点検・評価報告書」本文構成例について、一部内容を改め、分かりやすさを追求（p. 26）。
  
- 評価資料の作成方法等について、作成作業及び利用上の便宜を考慮し一部を変更するとともに、留意点等をより明確化した。
  - ・ ウェブサイト又はウェブ上の資料を評価資料として活用する場合の方法を変更（p. 32）。
  - ・ 複数年度分の資料が必要となるものについて、表Ⅱ－2を新たに加え、明確化（p. 33）。
  - ・ 印刷物の形態をとる評価資料について、ファイルへの綴じ方を変更するとともに、図Ⅱ－8を新たに加え、明確化（p. 34）。
  - ・ 表Ⅱ－3「評価資料の提出時期、形態」（改訂前は表Ⅱ－2）を修正し、4月時点と実地調査時に大学が提出又は閲覧用に準備する資料がともに一覧化できるように配慮（p. 35）。
  - ・ 実地調査時に大学が提出又は閲覧用に準備する資料について、資料一覧を書式任意から指定様式によるものへと変更（p. 41、様式8－2）。
  
- 「改善報告書」の検討手続変更に伴う記述の追加等を行った。
  - ・ 大学が用いる「改善報告書」様式の一部変更（様式18）。
  - ・ 「改善報告書」を本協会が検討した結果、場合によっては大学に求めることになる再度報告について、毎年求めるケースもあり得るとする変更（p. 45、p. 72）
  
- 教職の認定課程を有する大学に対する質保証の機能を高めるため、様式の一部変更を行った。
  - ・ 「基礎要件確認シート」（様式6）表5に、教職課程に関する情報公表についての記載欄を追加。

- 「大学基礎データ」について、様式の一部変更及び注記の一部変更を行い、作成がより容易となるようにした。
  - ・ 学部又は研究科の総計欄を追加（表2）。
  - ・ 注記を追加又は修正し、分かりやすさを追求（「◆大学基礎データ作成上の注意事項」シート、表2、表3、表4、表6、表7及び表8）。
  - ・ 様式中の語を修正し、正確性を向上（表4、表12）。
  
- 資料編及び様式編に、新たな資料及び様式を追加した。
  - ・ すでに言及した資料3のほか、「基礎要件に関する評価の指針」（資料4）及び「評価者の観点」（資料5）を掲載。
  - ・ 実地調査及び意見申立時の資料一覧についても様式化（様式8-2及び様式8-3）。
  
- すでに言及したもののほか、様式の一部を変更した。
  - ・ 「基礎要件確認シート」（様式6）表14に、「大学基礎データ」表2変更に伴う新たな記載欄を追加。また、冒頭の留意点の記載及び各表の注記の一部を変更。
  
- その他本文、資料編及び様式編中の一部表現の修正を行った。